

令和3年度 島田市公共下水道事業会計 決算概要

令和2年度との比較では、水洗化人口は92人増、水洗化率は1.0ポイントでしたが、年間有収汚水量では23千 m^3 の減となりました。また、下水道使用料は137,242千円、一般会計からの負担金及び補助金が408,812千円で決算し、その結果経常収益は683,731千円でした。経常費用は、減価償却費、委託料、企業債利息などにより644,960千円の決算となり、年間の経常利益は38,771千円となりました。

1 業務量

	令和3年度	令和2年度	増減
供用開始区域面積(ha)	232.64	232.15	0.49
供用開始区域内人口(人)	11,511	11,541	△ 30
水洗化人口(人)	9,152	9,060	92
水洗化率(%)	79.5	78.5	1.0
年間有収汚水量(m^3)	1,081,423	1,104,855	△ 23,432

2 損益計算書(収益的収支)

(千円)

	令和3年度	令和2年度	増減
営業収益	153,980	156,784	△ 2,804
うち下水道使用料	137,242	140,031	△ 2,789
営業外収益	529,751	534,612	△ 4,861
うち一般会計負担金/補助金	408,812	415,819	△ 7,007
うち長期前受金戻入	119,686	117,657	2,029
経常収益 計 ①	683,731	691,396	△ 7,665
営業費用	586,069	582,124	3,945
うち減価償却費	333,756	328,891	4,865
営業外費用	58,891	70,096	△ 11,205
うち企業債利息	58,242	69,581	△ 11,339
経常費用 計 ②	644,960	652,220	△ 7,260
経常利益 ①-②=③	38,771	39,176	△ 405
特別損益 ④	0	1,993	△ 1,993
当年度純利益 ③+④	38,771	41,169	△ 2,398

3 貸借対照表

(千円)

	令和3年度	令和2年度	増減
資産	10,684,342	10,804,138	△ 119,796
固定資産	10,493,561	10,587,370	△ 93,809
流動資産	190,781	216,768	△ 25,987
負債	7,089,272	7,412,226	△ 322,954
固定負債	2,818,208	3,073,307	△ 255,099
流動負債	512,624	549,154	△ 36,530
繰延収益	3,758,440	3,789,765	△ 31,325
資本	3,595,070	3,391,912	203,158
資本金	3,370,696	3,206,309	164,387
資本剰余金	144,434	144,434	0
利益剰余金	79,940	41,169	38,771
負債+資本 計	10,684,342	10,804,138	△ 119,796

4 キャッシュフロー計算書

4月1日から翌年3月31日の1年間における現金の流れと増減事由を把握する財務諸表です。

- ・業務活動CFはプラスです。内訳には、現金の動きを伴わない減価償却費や引当金等も含まれます。この指標がプラスの場合は業務活動が好調であることを指しますが、主には一般会計からの繰り入れに支えられているため、解釈に注意が必要です。
- ・投資活動CFは供用開始区域拡張の影響を受けマイナスとなりましたが、後に財源となる投資を行った場合もある指標であり、今回はマイナスであっても問題はありません。
- ・財務活動CFはマイナスです。借入や返済などの財務活動を示し、この場合は起債償還が主要なものです。今後も起債対象となる工事の量を吟味しつつ、起債残高が適正範囲に収まるように事業を運営することが必要です。

(千円)

	令和3年度	令和2年度	増減
業務活動CF	262,842	241,068	21,774
投資活動CF	△ 174,280	△ 57,272	△ 117,008
財務活動CF	△ 96,149	△ 36,866	△ 59,283
資金増減	△ 7,587	146,930	△ 154,517
期首資金残高	170,540	23,610	146,930
期末資金残高	162,953	170,540	△ 7,587

5 資本的収支

(千円)

	令和3年度	令和2年度	増減
資本的支出 ①	639,340	676,876	△ 37,536
資本的収入 ②	381,242	455,595	△ 74,353
うち、起債借入	137,700	184,400	△ 46,700
収入－支出 ②－①	△ 258,098	△ 221,281	△ 36,817

資本的収支は、建設等工事の支払いとそれに伴う起債の借入れと返済を行う会計です。支払いに必要な財源は、受益者負担金や補助金等の4条収入、収益的収支(損益計算書)で現金を伴わなかった3条支出(減価償却費等)分の現金(補填財源)などとなります。

